

エストニア月間情勢報告

【２０２６年１０月】

在エストニア日本国大使館



【１０月の注目記事】

内政

●１２日、マディセ新大統領、国会で就任式・宣誓。

外交

●９月３０日～１０月７日、カッラス教育研究相、韓国及び日本を訪問。

●５～９日、ラウドセップ・タリン市長、訪日。

防衛

●１４日、ルッテＮＡＴＯ事務総長、エストニア訪問。大統領、首相、外相と会談し、国防相とアマリ空軍基地を視察したほか、タリン工科大学で講演。

経済

●８日、ＥＵ対露制裁案、エストニアの要請で当地 NPM Silmet 社（レアアース）に原料を供給するロシア企業を対象外にしたとの報道。

SNS

大使館ＨＰ：https://www.ee.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

中村耕一郎大使インスタグラム：https://www.instagram.com/amb_japan_estonia/

大使館インスタグラム：https://www.instagram.com/japanembassyestonia/

大使館フェイスブック：https://www.facebook.com/share/1Yecpayktp/?mibextid=wwXIfr

１　内政の主な動き

●８日、モスクワ総主教庁系のエストニア・キリスト教正教会、昨年の教会・集会法改正は信教の自由を侵害するとして欧州人権裁判所に訴え。国内宗教団体と国の脅威となる外国宗教団体の関係を禁止する法改正。

●１２日、マディセ新大統領、国会で就任式・宣誓。

●１３日、シムソン前欧州委員（元エネルギー・インフラ相、元中央党）、社会民主党入党および来年の国会選挙での立候補表明。

●１４日、国会、欧州議会選挙法改正案を可決。２０２９年選挙から選挙権の資格年齢が１６歳、被選挙権は１８歳に。現在はそれぞれ１８歳と２１歳。

●１８日、エストニア２００党評議会、緑の党との合併交渉を実施しない決定。エストニア２００の支持率は約２％であり、一部の同党議員は来年国会選挙に立候補しない意向。

●１９日、国会、中央党、祖国党、保守人民党提出の内閣不信任案を否決。賛成３４票。

●２２日、フセヴィオフ外務次官、辞任を表明し、来年国会選挙に社民党から立候補を表明。

●２２日、マリス・ラウリ国会議員（元財務相、元銀行アナリスト、改革党）、１１月にマディセ大統領の経済顧問に就任の発表。議員辞職し、離党へ。

●２３日、１０月政党支持率（Emor 社）：中央党２１％、社民党２０％、祖国１９％、改革党１４％、保守人民党１４％、右派７％、エストニア２００党２％。

●２６日、無所属のエースマー議員（元中央党）、祖国党に入党して、国会選挙に出馬へ。一方、２７日にはケルスナ議員（元教育相、改革党）が選挙不出馬を表明。２９日にはオラ前カザフスタン大使が祖国党に入党。２９日にはクースク前国防次官が右派党に入党。

●２９日、国家選挙委員会、来年国会選挙でスマートフォンによる投票を導入する旨発表。パソコンによる電子投票は２００５年に導入。

●２９日、エストニア２００党、安楽死の是非を問う国民投票を来年国会選挙と同時実施するための法案を提出。

●３１日、マディセ大統領、自身の後任の法務長官候補としてオリヴェル・カスク最高裁判所裁判官を国会に提示。

２　外交・その他対外関係の主な動き

●９月３０日～１０月７日、カッラス教育研究相、韓国及び日本を訪問。日本では関文部科学大臣を表敬訪問したほか、科学技術関連フォーラム（京都）に出席し、佐久市の学校を視察。

●１日、エストニア、ロシア・ベラルーシ産穀物のエストニア経由の輸送を禁止。現在、実質的な輸送はないが、ロシアが新たな輸出ルートを模索していることが背景。

●１日、ツァフクナ外相、ハンガリー訪問。バカ大統領やオルバーン外相と安全保障に関して会談。エストニア外相によるハンガリー訪問は７年ぶり。

●５日、外務省、人道援助のために国連機関や赤十字国際員会に約２３万ユーロ拠出。ウク

ライナ支援には１０万ユーロ。
●５日、米国、国境の安全保障強化のためにエストニア警察国境警備庁に米国製偵察用ドローン「Skydio X10D」１３機を供与。
●５～６日、ツァフクナ外相、モルドバ訪問。大統領、議長、外相と安全保障や同国の欧州統合に関して会談し、在モルドバ・エストニア大使館の開設式に出席。
●５～９日、ラウドセップ・タリン市長、訪日。小池都知事と両都市の企業間の協力に関して会談し、駐日ＥＵ代表部主催のＥＵと日本の都市間の交流行事等に参加。
●７～８日、ツァフクナ外相、英国訪問。ミリバンド外相と防衛協力に関して会談し、安保関連会議に出席。
●１１日、ヘレム国防相、ウクライナ訪問の発表。ゼレンスキー大統領、フマラ国防相、クリチコ・キーウ市長と防衛協力やインフラ保護に関して会談。
●１３日、外務省、シリアの人道危機緩和のために計１２万ユーロを当地ＮＰＯに配分。
●１３日、ツァフクナ外相、ポーランド訪問。ワルシャワ安全保障フォーラムに出席。
●１３、１４日、マディセ大統領、就任後初の外遊先としてラトビア及びフィンランド訪問。ラトビアではリンケービッチ大統領とフィンランドではストゥッブ大統領と二国間関係や欧州の安全保障に関して会談。
●１５日、当地中国大使館、当地議員による在ラトビア「台北代表処」がタリンで開催した台湾記念日レセプション出席に関し、抗議文を国会に送付との報道。
●１５～１６日、ミッハル首相、欧州理事会に出席（於：ブリュッセル）。ロシア人への観光査証発給の制限やＥＵ次期予算案に関して協議。
●１６日、マディセ大統領、アライオロス・グループ首脳会合に出席（於：スロベニア）。
●２１日、マディセ大統領、リトアニア訪問。ナウセーダ大統領と安全保障に関して会談。
●２２日、インターネットの自由度（米フリーダムハウス）：１位エストニア、２位コスタリカ、３位台湾。
●２２日、ツァフクナ外相、訪仏。バロ外相と防衛・経済分野の協力に関して会談。
●２２日、エストニア、ウクライナ支援のＰＵＲＬイニシアチブへの１，０００万ユーロ拠出を決定。これまでにＰＵＲＬに２，１００万ユーロ拠出済み。
●２８日、エストニアとウクライナ、ウクライナ復興会議開催（１月２８～２９日、タリン）に関する共同声明を発表。ゼレンスキー大統領は、世界の首脳宛の招待状に署名。
●２９～３０日、チハノフスカヤ・ベラルーシ民主勢力代表、エストニア訪問。ツァフクナ外相や同国の民主勢力を支援する各国及びＥＵ関係者と会談。

３　防衛の主な動き

●１４日、ルッテＮＡＴＯ事務総長、エストニア訪問。大統領、首相、外相と会談し、国防相とアマリ空軍基地を視察したほか、タリン工科大学で講演。

４　経済の主な動き

●８日、ＥＵ対露制裁案、エストニアの要請で当地 NPM Silmet 社（レアアース）に原料を供給するロシア企業を対象外にしたとの報道。欧州委は１９日、同社親会社等の事業７７件をクリーン技術支援対象に選定しており、同社は支援を利用して供給元を変更する方針。

●２１日、Blackwall 社（サイバーセキュリティ、評価額２２億ドル）と Skeleton Technologies 社（ウルトラキャパシタ、同１０億ドル以上）、ユニコーン企業になったとの報道。エストニアのユニコーン企業はのべ１２社。

●２９日、ユニコーンの Pipedrive 社（営業ツール）、リストラの発表。当地従業員３８０人の７０％を解雇との報道。ＡＩの台頭を背景に他社でもＩＴ関連の雇用縮小の傾向。

５　経済関係統計（出典は特に記載がなければ統計庁）

●９月消費者物価指数（７日）：前年同月比＋３．５％。

●８月貿易（１２日）：輸出は前年同月比＋３％の１５億ユーロ、輸入は＋１０％の１８億ユーロ。

６　日本関連報道数

	政治	経済	文化	社会	スポーツ	その他	計
現地記者	0	0	0	2	0	0	2
キャリー	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	2	0	0	2

（注意）以上の記載内容は、エストニア国内の報道をまとめたものであり、当館としてその記載内容に責任を有するものではありません。